



【谷中の風情と文化に触れた一日】

●7月の散策では、JR 日暮里駅北口に集合し、朝倉彫塑館や旧吉田屋酒店、寛永寺根本中堂、上野東照宮を巡りながら、日暮里から上野までゆっくりと歩きました。散策20名の参加です。

【レポーター・世話人・大村 健】

●今回の散策で最も心に残ったのは、建物だけでなく、日暮里から上野へ向かう道中の街並みでした。特に谷中は名前こそ知っていましたが、実際にゆっくり歩くのは初めてでした。昔ながらの路地や落ち着いた町並みには風情があり、とても印象深く感じました。（⇒朝倉彫塑館入口で説明）
（↓朝倉彫塑館、正門前で集合写真）



●朝倉彫塑館は、彫刻家・朝倉文夫が住居兼アトリエとして使用していたもので、作品を展示しているアトリエ部分の天井高は約8.5メートルもあり、その開放感に圧倒されました。展示作品も見事でしたが、私が特に印象に残ったのは、現在ではなかなか見ることのできない材料や施工技術を用いた建物そのものでした。建物や池を配した庭園も朝倉氏自身が設計したと伺い、国の登録有形文化財となっていることにも納得しました。



●朝倉彫塑館内部の撮影区域から各人を撮影（天井高が約8.5メートルの室内、朝倉氏の像をバックに撮影！）



●次に訪れた旧吉田屋酒店本店では、酒樽や日本酒などが展示されていました。建物は軒下に桁が張り出した特徴的な造りで、当時の商家としての格式を感じることができました。（↓寛永寺根本中堂の天井絵と集合写真）



●お疲れの様子寛永寺根本中堂では、正面へ流れるような大屋根が訪れる人を優しく迎え入れるような印象を受けました。広々とした境内は落ち着いた雰囲気包まれ、ゆったりとした時間が流れていました。また、大きく美しい天井絵（太田さん：画像）も見応えがありました。（↓上野東照宮は二手に分かれ散策：太田さん撮影）

●上野駅までの道中には、美術館や博物館、東京藝術大学などが点在し、「都会の中にもこんなに静かで落ち着いた場所があるのですね」と、一緒に歩いた方と話したことも心に残っています。

●私自身、地理にはあまり詳しくなく、一人ではこのような散策はできなかったと思います。今回、企画・案内等をしてくださった散策担当の太田さんに、心より感謝申し上げます。 ※機会を見つけて、ぜひもう一度、自分の足で谷中や上野の街をゆっくり歩いてみたいと思っています。 ※レポーター 世話人・大村 健



●散策後の会食では、歩いた疲れも忘れ、楽しい語らいに皆さん大満足。最後は小原さんの締のご挨拶でお開！